

STARTプログラム募集要項（平成25年度後期）

- 第14回 ～アメリカの大学、社会と文化～
- 第15回 ～ベトナム戦争の痕跡とホーチミン市の発展を体感する～
- 第16回 ～ニュージーランドー自然との共生社会ー～

1. STARTプログラムとは

START（スタート）プログラムの目的は、海外経験の少ない新入生を対象に、海外の大学やその周辺都市を訪問し、日本と異なる文化や環境を体験する機会を提供し、国際交流や留学への関心を高めるきっかけをつくることです。また、STARTプログラムでは、参加費用の一部を広島大学基金から補助することで学生の経済的負担を減らし、より多くの学生が留学に挑戦する可能性を広げることを目指しています。

2. 教養教育科目「海外フィールドスタディ」（2単位）

STARTプログラムは教養教育科目「海外フィールドスタディ」として実施しています。参加が決まった学生は、自動的に上記科目に履修登録され、成績評価を受けて、単位を習得できます。このプログラムは、広島大学の学生をグローバル人材として育成することを目指しており、以下のグローバル・コア・コンピテンシー（世界で通用する人材として必要となる能力）を向上します。

STARTプログラムで育成するグローバル・コア・コンピテンシー

- (1) コミュニケーション能力（国際的対話能力）
- (2) 自己管理能力
- (3) 成果を出す能力
- (4) 連携とネットワーク
- (5) 個性と文化の尊重

グローバル・コア・コンピテンシーは渡航前・渡航中・帰国後の3回にわたって自己評価を行い、行動計画を立てます。そして、担当教員のフィードバックをもとに行動計画を練り直し、実行に移します。成績評価では、参加態度・海外研修時の発表・帰国後のレポート等に基づき、総合的にグローバル・コア・コンピテンシーの向上を評価します。

「海外フィールドスタディ」については、Myもみじに掲載されているシラバスもご参照ください。

3. 第14～16回STARTプログラム共通項目

- a) プログラム内容： 広島大学の海外協定大学で2週間、現地大学教員による講義やワークショップ、現地公用語の語学授業、現地学生との交流、大学周辺及び周辺都市でのエクスカッションなどを行います。また、きめ細やかな事前学習・事後学習を通じて現地での体験をより効果的に吸収し、ふりかえり、内在化するプロセスをサポートします。
- b) 対象学生： 学部1年生 *応募資格については3ページに別途記載
- c) 募集人数： 各回24名
- d) 学生負担費用： プログラム参加費（5万円）、海外旅行保険料（大学指定のもの、約1万円）、パスポート申請費（5年用11,000円）、日本国内交通費、現地交通費、お小遣い（食費含む）など
 - ※ プログラム参加費は、全体費用（航空券、査証（ビザ）申請料、宿泊費、プログラム費、一部の食事代）の一部に充当されます。
 - ※ 第14回（アメリカ）については、JASSO留学生交流支援制度（短期派遣）奨学金8万円が支給されますが、これも全体費用の一部に充当させていただきますので、ご了承願います。
- e) その他： 本プログラムは、事前学習・事後学習を含むすべての行事に参加することが参加の条件です。また、研修終了後にレポートの提出及びプログラム評価への協力が義務付けられています。

4-1. 第 14 回 START プログラムの概要

- a) 渡航・研修先： アメリカ合衆国ヴァージニア州ハリソンバーグ、ジェームスマディソン大学
- b) 実施期間： ①事前研修：2013年12月～2014年2月
②現地研修：2014年2月15日（土）～3月2日（日）（15泊16日）
※ 成田空港集合・解散（11月7日現在での予定です。国内の他空港に変更になる可能性もあります）
③事後研修：2014年3月25日（火）13:30～16:30
- c) 引率： 広島大学国際センター 堀田泰司 准教授 ほか
- d) 宿泊場所： ジェームスマディソン大学寮（現地学生とルームシェア）を予定

4-2. 第 14 回研修先の紹介： James Madison University

- a) ジェームスマディソン大学 <http://www.jmu.edu/>
ジェームスマディソン大学（JMU）は、1908年に創立された公立大学で、「Knowledge is liberty（知識は自由なり）」のモットーのもと教育が行われています。現在は、文学部、経営学部、教育学部、科学技術部、科学・数学部、芸術学部、大学院専門職課程の7つの学部によって構成されており、世界78か国から集まった約19,000名の学生が学んでいます。
- b) ヴァージニア州
ジェームスマディソン大学のあるヴァージニア州は、米国東部に位置し、首都ワシントン D.C.から2時間の距離にあります。ヴァージニア州には、歴史ある建物や博物館、美術館などの観光名所が多くあるだけでなく、シェナンドー国立公園を始めとした多数の国立公園があり、自然が豊かなことで知られています。

5-1. 第 15 回 START プログラムの概要

- a) 渡航・研修先： ベトナム社会主義共和国 ホーチミン市ほか
ベトナム国家大学ホーチミン市校人文社会科学大学（広島大学ベトナムセンター）
- b) 実施期間： ① 事前研修：2013年12月～2014年2月
② 現地研修：2014年3月3日（月）～3月17日（月）（14泊15日）
※ 国内空港集合・解散（東京・関西・広島・福岡のいずれかの空港を予定しています。）
③ 事後研修：2014年3月26日（水）13:30～16:30
- c) 引率： 広島大学大学院文学研究科 八尾隆生 教授 ほか
- d) 宿泊場所： ベトナム国家大学ホーチミン市校人文社会科学大学から徒歩圏内の学生宿舎（2人1部屋）を予定
- e) 注意事項：出発までに、A型肝炎の予防接種を2回、大学指定の病院で受けて頂きます（費用は大学が負担）。

5-2. 第 15 回研修先の紹介： University of Social Sciences and Humanities, Ho Chi Minh City

- a) ホーチミン市人文社会科学大学 <http://en.hcmussh.edu.vn/3cms/>
ホーチミン市人文社会科学大学（USSH）は、ベトナム国家大学ホーチミン市校（VNU HCMC）の中の専門大学の一つで、ロシアやポーランド、アメリカ、オーストラリア、フィリピン、韓国、日本など世界中の様々な国出身の教員による18学科500科目の授業が行われています。また、ホーチミン市人文社会科学大学には日本語学科があり、日本に興味を持って勉強している学生もたくさんいます。2010年11月に広島大学ベトナムセンターをUSSH内に開設しました。
- b) ホーチミンシティ
ベトナム戦争終結後、1975年に解放されるまでは首都「サイゴン」として栄えたベトナム最大の商業都市です。フランス植民地時代のコロニアル様式の建物に代わり現在は高層ビルが増えましたが、市場や裏通りには昔と変わらない街並みも残っています。通りやロータリーはバイクであふれ返っており、経済成長の熱気を肌で感じられる都市です。

6-1. 第16回 START プログラムの概要

- a) 渡航・研修先： ニュージーランド 北島オークランド市 オークランド大学
- b) 実施期間： ①事前研修：2013年12月～2014年3月
②現地研修：2014年3月14日（金）～3月31日（月）（17泊18日）
※ 国内空港集合・解散（東京・関西・広島・福岡のいずれかの空港を予定しています。）
③事後研修：2014年4月7日（月）※時間未定
- c) 引率： 広島大学大学院社会科学部研究科 西谷元 教授，教育学研究科 森田愛子 准教授 ほか
- d) 宿泊場所： ホームステイを予定（1人1家庭）

6-2. 第16回研修先の紹介： University of Auckland

- a) オークランド大学 <http://www.auckland.ac.nz/>
オークランド大学は、1883年に創立されたオークランド市街に位置するニュージーランド最大規模の国立大学で、2012年のQS World University Rankings（世界大学ランキング）は83位、国内で最上位の大学です。研究を主導し、その卓越した教育および社会への貢献で知られています。キャンパスは6つあり、教育、人文、法、経済・経営、芸術・芸術工学、工、理、神、医学・健康の9学部によって構成され、世界93か国から学生が集まり、留学生約4,000名を含む約38,500名の学生が学んでいます。
- b) オークランド市
オークランド大学のあるオークランド市は、ニュージーランド北島に位置し、人口約150万人の商業地区を有するニュージーランド最大の都市です。海に面した地形から海上交通が栄え「帆の街」という愛称で親しまれており、港には多数の小型船舶が停泊し、ハーバークルーズやセイリングが盛んです。オークランド博物館やホウィック歴史村など原住民や開拓民、戦争に関する施設があります。郊外には、オークランド市街と海が一望できる死火山イーデン山やワン・トゥリー・ヒル、市街地の対岸に位置する歴史的町並みの残るデボンポートがあります。

7. 応募資格（選考基準）

- a) 広島大学に正規生として在籍する学部1年生（所属学部は問わない）
- b) 国際交流や留学に高い関心を持っており、参加目的が明確で且つ向上心に富んでいること
- c) 事前学習・現地研修・事後学習のすべてに参加し、真剣に取り組むことができること
- d) プログラム終了後、事業評価や広報活動に全面的に協力できること
- e) 過去に、1ヶ月以上の海外渡航歴または14日間以上の海外研修経験（留学、語学研修、ホームステイ等）がないこと
※ただし13歳未満の経験については不問とする。また、海外研修経験が複数回ある場合は、通算日数が14日間を超えないこと
- f) 英語力を考慮して審査する

8. 選考方法

応募者数の多少に関わらず、書類審査及び面接による選考を行う。

9. 募集から帰国までの予定

2013年	11月7日(木)～	募集開始
	11月11日(月)18:10-18:40	募集説明会開催（総合科学部L棟102教室）
	11月12日(火)12:10-12:40	※2回とも同じ内容ですのでどちらかにご参加ください
	11月18日(月)8:30～	応募受付期間(時間厳守)
	11月20日(水)17:00	☞ オンライン入力後、国際交流グループへ申込書を提出
	11月28日(木)12:00まで	書類審査結果発表（Myもみじ個人掲示）

	11月29日(金), 12月2日(月), 3日(火)	面接審査(☞詳細は p.5-6)
	12月5日(木)12:00まで	面接審査結果発表 (My もみじ個人掲示)
	12月7日(土)9:00-15:00	オリエンテーション①【全員】 *参加者顔合わせ, 今後の手続き説明など (法学部・経済学部棟 255 講義室, 216・206・207 演習室)
	12月13日(金)18:00-20:00	事前講義【アメリカ】(教育学部 K 棟 113 講義室)
	12月16日(月)~21日(土)	A 型肝炎予防接種 1 回目【ベトナム】(指定病院)
	12月17日(火)18:10-20:00	海外渡航リスク管理セミナー (法・経講義棟 255 教室, 震地区は医学部第 5 講義室)
	12月20日(金)18:00-20:30	事前講義①+オリエンテーション②-1【ニュージーランド】(場所未定)
2014 年	1月9日(木)17:00	パスポート提出 必須 切【アメリカ】
	1月14日(火)18:00-20:30	事前講義【ベトナム】(学生プラザ4F 多目的室 1・2)
	1月15日(水)17:00	パスポート提出 必須 切【ベトナム, ニュージーランド】
	1月17日(金)18:00-20:30	オリエンテーション②-1【アメリカ】(学生プラザ4F 多目的室 1・2)
	1月21日(火)18:00-20:30	オリエンテーション②【ベトナム】(学生プラザ4F 多目的室 1・2) 事前講義②+オリエンテーション②-2【ニュージーランド】(場所未定)
	1月24日(金)18:00-20:30	オリエンテーション②-2【アメリカ】(学生プラザ4F 多目的室 1・2)
	1月20日(月)~25日(土)	A 型肝炎予防接種 2 回目【ベトナム】(指定病院)
	2月10日(月)18:00-20:30	オリエンテーション③【全員】(法学部・経済学部棟 255 講義室, 216・206・207 演習室)
	2月15日(土)~3月2日(日)	渡航期間(国内空港集合・解散)【アメリカ】
	3月3日(月)~3月17日(月)	渡航期間(国内空港集合・解散)【ベトナム】
	3月14日(金)~3月31日(月)	渡航期間(国内空港集合・解散)【ニュージーランド】
	3月25日(火)13:30-16:30	事後研修【アメリカ】(教育学部 K 棟 113 講義室)
	3月26日(水)13:30-16:30	事後研修【ベトナム】(学生プラザ4F 多目的室 1・2)
	4月7日(月)	事後研修【ニュージーランド】(場所未定)

*このプログラムの参加学生は、上記の行事すべてに参加できることが条件です。

*上記の予定はやむを得ない状況などにより、予告なく変更されることがありますので、
予めご了承ください。

10. 応募方法

下記 1~4 の書類を揃えて、2013 年 11 月 18 日 (月) 8:30 から 11 月 20 日 (水) 17:00 まで (厳守) の間に、国際交流グループ留学担当 (学生プラザ 3F) へ、応募者本人が提出しに来て下さい。これ以降の提出は一切受け付けません。なお、今回は、第 14~16 回 (アメリカ, ベトナム, ニュージーランド) の参加者の募集・選考を同時に行います。派遣先は第 2 希望まで申し込み可能です。

提出書類：

1. 第 14-16 回 START プログラム申込書 (オンラインフォームを入力後、PDF を印刷、署名して提出)

オンラインフォーム URL : <https://husa.office.hiroshima-u.ac.jp/start14-16/login.html>

※ 11 月 11 日 (月) 9:00~11 月 20 日 (水) 17:00 までの間の登録のみ、有効になります。

入力項目については本募集要項末尾の資料を参照のこと

2. 英語能力を証明する書類 (英検合格証, TOEFL や IELTS のスコアレポートなど)

※ 学内で実施された今年度第 1 回の TOEIC (IP) (5/18 (土) の本試験または 6/1 (土) の追試) を

受験した学生は証明書類の提出は不要です。上記以外に各自で受験した TOEIC のスコアを使用する場合には、スコアレポートを提出して下さい。

3. これまでに取得したパスポート（本体）の提示（すでに失効しているものも含む）

※ パスポートを取得したことのない学生は不要です

4. 学生証の提示（本人確認のため）

参加申込書入力上の注意

- a) オンライン入力を始める前に、この募集要項末尾に掲載している入力項目リストを確認し、志望理由書やパスポートの情報など、入力に必要な情報をすべて準備して下さい。途中でやめた場合、入力内容は保存されません。
- b) 確認画面で「同意して申込み」ボタンを押した後、入力フォームに戻ることは出来ません。よく確認して送信して下さい。必須項目に記入漏れがある場合は「同意して申込み」ボタンが表示されません。
- c) 一度入力・送信した後に、再度入力・送信を行うと、複数のデータが登録されます。その場合は、窓口での提出の際に、複数回送信した旨と、何月何日の何時に入力したものを申請に使用するのかを申告して下さい。
- d) 確認画面のあとに、PDF をダウンロードして終了する画面が出てきます。**ダウンロード**と**終了**の2つのボタンがありますが、先に**終了**するとPDFがダウンロードできなくなってしまうので注意して下さい。万が一**終了**してしまった場合は、再度入力はせず、窓口にご相談に来て下さい。
- e) 国籍を複数有している場合は全てを記載して下さい。
- f) 電話番号とメールアドレスは、必ず連絡のつくもの、毎日確認するものを記入して下さい。日常的に使用しているPCメールが無い場合は、広大メールアドレスを記入し、今後これを確認するようにして下さい。
- g) 保護者または保証人のE-mailアドレスは使用しているものがある場合のみ記入して下さい。
- h) 渡航中の連絡先は、主に渡航中の緊急時に使用するものですので、必ず連絡のつく電話番号を記入して下さい。
- i) 健康面などで特別なサポートが必要な場合は、健康状態の欄に出来るだけ具体的に記入して下さい。
- j) 申込み・参加にあたり懸念事項がある場合には、特記事項欄に記入して下さい。
- k) オンラインフォームを入力しても、窓口への提出をするまで申込みは完了しませんのでご注意ください。
- l) 入力した項目に事実と異なる記載があれば、いかなる理由においても失格とみなします。万が一、参加決定後にこのような事態が発覚した場合には、その時点で参加資格を失いますので、よく注意して下さい。特に過去の渡航歴等においては、各自でよく確認しておいてください。

11. 選考方法と結果の発表

- a) **書類審査の結果は2013年11月28日（木）12:00までに「Myもみじ個人掲示」にてご連絡しますので、各自で確認して下さい。**万が一、上記期日までに掲示が表示されない場合は、国際交流グループ担当者にご連絡下さい。
- b) 書類審査通過者は、面接を行いますので、必ず指定された日時の面接に出席して下さい。各自の面接時間は、書類審査の結果と一緒にご連絡します。**この面接に出席できない方は、参加することができませんのでご注意下さい。**

待機場所：書類審査結果通知で確認のこと

日 時：2013年 11月29日（金）16:20～19:00（アメリカ候補者）

12月 2日（月）16:20～19:00（ベトナム候補者）

12月 3日（火）16:20～19:00（ニュージーランド候補者）

} 1人5分程度

面接の結果は2013年12月5日（木）12:00までに「Myもみじ個人掲示」にてご連絡します。

- c) 選考に合格した方は、必要書類の提出と参加費用の振り込みをもって正式に参加者として決定します。手続きの詳細は、12月7日（土）のオリエンテーション①でご案内します。
- d) 応募者多数の場合、各プログラムにつき5名まで次点候補者（キャンセル待ち）を選出します。
- e) 書類・面接とも審査結果についての問合せ・苦情は一切受け付けませんので予めご了承ください。

12. その他注意事項

- a) 必ず保護者または保証人の方の同意を得てから申し込んで下さい。参加内定後に参加学生および保護者／保証人より同意・誓約書を提出して頂きます。
- b) 第14回アメリカ参加者は2014年1月9日(木)、第15回ベトナムと第16回ニュージーランド参加者は2014年1月15日(水)までにパスポートのコピーが提出できない場合、参加できません。有効なパスポートをお持ちでない方は、すぐに申請することをお勧めします。どうしても参加が決定するまでは申請するのが難しいという場合でも、申請に必要な書類についてはあらかじめ準備しておいて下さい。パスポートの申請には、住民票、戸籍抄本など役所から取り寄せなければならない書類や、未成年の場合は申請書に保護者の署名が必要で、実家が遠方の方は必要書類をそろえるのに時間がかかります。また、申請から受領までに通常8日程度(土日祝を除く)かかり、必ず申請者本人が申請した役所の窓口に取り取りに行く必要があります。詳しくは下記ホームページを参照して下さい。
【外務省】http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass_2.html
【東広島市】<http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/soshiki/16/passport-uketori.html>
パスポート取得の遅れにより参加できなくなった場合にも、広島大学は責任を負いません。
- c) 参加者には全てのオリエンテーションと事前講義、リスク管理セミナー、事後研修への出席が義務付けられていますので、4ページの予定表に書かれている日程を必ず空けておいて下さい。自己都合(アルバイトやサークル活動なども含む)によりオリエンテーション、事前講義、リスク管理セミナーに欠席した方は参加を取り消す場合があります。
- d) 申請書の記載事項に変更があった場合には速やかに担当者に連絡して下さい。
- e) 自然災害、国際情勢や航空会社、研修先などの事情により急な中止ならびに変更が生じることがありますので、あらかじめご了承下さい。
- f) 参加者には緊急対策として全員、現地で使える携帯電話を各自で準備していただきます。
- g) 第15回ベトナムに参加される方は、参加が決まったら、大学の指定する病院で指定された期間に2回、A型肝炎の予防接種を受けて下さい。この予防接種費用は、大学が負担します。

13. Q&A

Q. 教養教育科目「海外フィールドスタディ」の授業登録をせずに、STARTプログラムに参加することはできますか？

A. いいえ、できません。参加が決まった学生は国際交流グループにて登録手続きを行います(もみじでの登録は出来ません)。

Q. 英語力はどのくらい必要ですか？

A. どのプログラムでもほとんどの講義は英語で教授されますし、現地の人々と英語や現地語で交流したりする機会が多くありますので、ある程度の英語力及び英語や渡航先の公用語でコミュニケーションを取ろうとする意欲や積極性が求められます。

Q. 申込書に記入する海外渡航経験に、海外旅行は含まれますか？

A. はい。個人旅行や修学旅行、留学、家族との移住など、海外に渡航した経歴はすべて記入して下さい。広島大学のプログラムの場合は、プログラム名も記載して下さい。

Q. 外国籍の学生でも申し込めますか？

A. はい、申し込めます。国籍は問いません。

Q. 参加が決めた後、途中で自己都合により参加を取り消した場合、キャンセル料が発生しますか？

A. 原則、パスポート提出期限日以降にキャンセルした場合、返金されません。

Q. 次点候補者（キャンセル待ち）の場合、いつまでに参加できるかどうか分かりますか？

A. キャンセルが出た場合は、各コースのパスポート提出〆切日までにご連絡します。その時点でパスポートを所持していない場合は、権利が次の方に移りますのでご注意ください。

Q. このプログラムに参加すると、交換留学やHUSAのショートプログラム、その他の留学プログラムへの応募の際、影響がありますか？

A. 国際交流グループが担当する留学プログラムについては、原則として、STARTプログラムへの参加が他の留学プログラムへの妨げになることはありませんが、給付奨学金やプログラム費等の経済支援を伴う短期（1ヶ月未満）のプログラムの場合は、優先順位が下がる可能性があります。各学部等が実施するプログラムについては、それぞれの担当窓口にお問い合わせください。

Q. お小遣いはいくら持っていけばいいですか？

A. 個人差もありますしレートや渡航先にもよりますが、目安としては3-5万円程度あれば十分でしょう。滞在中の食事代もお小遣いの中から支払うことになるので、その費用とお土産代と考えて下さい。

Q. 第15回ベトナムに参加するための予防接種は指定病院で受けなければいけませんか？かかりつけの病院ではダメですか？

A. 指定以外の病院で受けても構いませんが、その場合は費用が自己負担になり、別途、証明書を提出していただく必要があります。

その他、東南アジアへの渡航に際してはB型肝炎、破傷風、狂犬病、日本脳炎の予防接種が推奨されています（厚生労働省）。心配な方は、任意・自己負担にて予防接種を受けて下さい。

<問合せ先>

広島大学教育・国際室 国際交流グループ

（学生プラザ3F） 担当：梅村，小倉

TEL:082-424-4346/4541 FAX:082-424-4545

E-mail: start@hiroshima-u.ac.jp

オンライン申込みフォーム 入力項目一覧

1. 申請するプログラム (第1希望, 第2位希望)

2. カナ氏名

3. 漢字氏名

4. ローマ字氏名

5. 学部・学科

6. 学生番号

7. 生年月日

8. 性別

9. 国籍

2~8 の項目については、学籍番号に基づいて自動的に入力されますので、確認して下さい。また、「ローマ字氏名」が学籍で登録されている綴りとパスポートの綴りと異なる場合は、パスポートの綴りに合わせて入力し直してください。

10. 海外渡航経験の有無 ※有りの場合は出来るだけ詳しく書いて下さい。(国・期間・目的など)。

例：「1999年5月1-3日(3日間)家族旅行・マレーシア」

11. 英語能力

○5/18 または 6/1 に大学で受験した TOEIC IP テスト (第1回) の成績を使用することに同意します。

○5/18 または 6/1 に大学で行われた TOEIC IP テスト (第1回) を受験していませんので、語学能力を証明する別の資料を提出します。

* 語学能力を証明する資料の詳細

例：「英検準2級 2011年9月合格」, 「TOEIC 公式テスト 8月10日受験 530点」

○5/18 または 6/1 の TOEIC IP テストを受験しておらず、語学能力を証明する別の資料もありません。

12. パスポートの有無 (すでに失効したものも含む)

※有効なものがある場合は、有効期限とパスポート番号を記入；失効したものがある場合は失効日を記入

13. 健康状態 ○良好 ○配慮が必要 ○アレルギーなど

14. 現住所

15. 電話番号 (携帯)

16. メールアドレス (携帯)

17. メールアドレス (パソコン)

18. 保護者または保証人氏名, 続柄

19. 保護者または保証人住所

20. 保護者または保証人電話番号

21. 保護者または保証人メールアドレス

22. 渡航中の緊急連絡先電話番号

23. その他, 特記事項

24. 面接予定日の授業の有無 ※授業以外の事由による面接日時の調整はできません

25. アンケート：START プログラムを何で知りましたか？

26. 志望理由書 (このプログラムに参加して学びたいこと、経験したいことは何ですか？また、その学びや経験を、今後どのように生かしていきたいですか？ (1000文字以内))

27. START プログラム申込みにあたっての注意事項同意確認

「上記、記載事項はすべて事実と相違ありません。事実と異なる記載をしたことが判明した場合、参加資格を失うことを了解しています。また、第14-16回 START プログラム募集要項をよく読み、プログラム内容及び注意事項をすべて理解し、同意しています。」

※ 入力した内容を再度確認してから、「同意して申込み」ボタンを押してください。

※ この申込書に入力していただく個人情報は、START プログラムの運営のために利用するものであり、この目的以外で利用したり第三者へ提供したりすることはありません。